

JIS

土工機械－取扱説明書－内容及び様式

JIS A 8334 : 2022

(ISO 6750-1 : 2019)

(JCMA/JSA)

令和 4 年 9 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.3.25 改正：令和 4.9.20

官 報 掲 載 日：令和 4.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建設機械施工協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 取扱説明書の一般情報	5
4.1 一般情報	5
4.2 機械構成	5
4.3 アタッチメント, 作業機具又は追加のエクイップメント	5
4.4 測定の単位	5
4.5 オリジナルの言語及び翻訳	5
4.6 図記号	5
4.7 機械上の聴覚信号及び視覚信号の意味	6
4.8 基本的な情報	6
5 取扱説明書の内容	6
5.1 一般	6
5.2 取扱説明書の識別	6
5.3 目次	6
5.4 機械の識別	6
5.5 序文	7
5.6 安全情報	8
5.7 運転操作	10
5.8 不具合対策	11
5.9 保守及び調整	11
5.10 予備部品リスト	12
5.11 劣化防止及び保管	12
5.12 耐用年数終了の情報	13
5.13 仕様書－機械技術データ	13
附属書 A (規定) 取扱説明書に含める基本的な情報	14
附属書 B (参考) 取扱説明書の表記及び様式－推奨事項	16
附属書 C (参考) 電子媒体	20
参考文献	22
解 説	25

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建設機械施工協会（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 8334:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

土工機械—取扱説明書—内容及び様式

Earth-moving machinery—Operator’s manual—Contents and format

序文

この規格は、2019年に第1版として発行された **ISO 6750-1** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

運転員は、機械並びにそのエクイップメント及びアタッチメントの正しい使用及び保守に関する指針を提供する取扱説明書が利用可能である必要がある。したがって、このような取扱説明書は明確で分かりやすいものであり、用語の定義と同様に合理的に予見可能な危険源のための警告を含み、使用される単位、記号及び絵表示は関連する国際規格に従っていることが期待される。

この版は、**ISO 3600** が対象とする類似の専門分野と整合するように作成されている。

1 適用範囲

この規格は、**JIS A 8308** に定義する土工機械（以下、機械という。）の取扱説明書の内容を規定し、取扱説明書の構成に関する指針を与える。この規格は、機械の製造業者が、取扱説明書の文案を作り、表記するときの助けとなることを、意図している。

この規格は、整備技術者が使用することを意図した整備要領書には適用しない。

注記 1 附属書 A は、取扱説明書に含める基本的な情報を記載している。

注記 2 附属書 B は、紙の取扱説明書の表記及び様式に関する指針を記載している。

注記 3 附属書 C は、取扱説明書の内容を伝達するための電子的な手段に関する推奨事項を記載している。

注記 4 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6750-1:2019, Earth-moving machinery—Operator’s manual—Part 1: Contents and format (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 8310-1 土工機械—操縦装置及び表示用図記号—第1部：共通図記号

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 6405-1**, Earth-moving machinery—Symbols for operator